

放課後等デイサービス自己評価表

事業者向け

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に応じて広いスペースで活動等を行っている。
	2 職員の配置数は適切であるか		○		当日の勤務職員数によって、職員配置が不足する日や時間帯がある。その際は、他事業所から職員を出してもらったりパート職員を雇用して対応している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレ等は手すりがついていて、車椅子の利用者でも安心して使用できるように広いスペースが確保されている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		毎月開催される会議で業務に関する課題を共有して、解決に向けて協議を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け自己評価の結果を参考にして、今後の業務改善に繋げている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和元年度の評価を法人ホームページに掲載した。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員による外部評価は実施していない。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今年度は、外部から講師を招いて「意思決定支援」について研修会を開催した。次年度は、児童支援に関する研修の企画や参画を検討する。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご家族からニーズや課題の聞き取りを行ったり、アセスメントから発達支援でのニーズを明確にしたうえで計画書を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		重症心身障がい児に適したアセスメントになっているか検討が必要。今後は内容について職員間で協議していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか			○	担当職員のみがプログラムの立案をしている。次年度以降は、他職員からの意見を参考にして取り組んでいきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムが同じような内容になっているため、利用者1人ひとりに必要な活動プログラムを考えていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日も長期休暇も同じプログラムになっている。今後は利用者の課題を明確にして、長期休暇を中心に個別プログラムを充実させていく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団プログラムと個別プログラムの両方が実施できるように、計画書を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		朝の朝会時に、活動プログラムや担当職員の確認を行っている。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		勤務時間の関係で打ち合わせは実施できていない。ケースに記録したり、モニタリング記録簿に記載して共有を図っている。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録とモニタリング記録表に記入している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月の会議時にモニタリングを行い、職員間で共有を図り今後の支援について協議している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		基本活動を複数組み合わせ合わせて実施するようにしているが、当日の職員数等で毎回実施できているわけではない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当職員が児童発達支援管理責任者が出席するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			毎月児童利用予定表を学校に渡している。学校からは月間予定表をもらい学校行事や下校時刻を確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアの実施内容等をご家族を通して主治医から指示書もらっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談員を通して必要に応じて関係機関と情報共有を図っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			学校を卒業して障害福祉サービスを利用する際は、学校又は相談員が開催するサービス調整会議等に出席して情報共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		専門機関と連携したり、研修を受ける機会がなかった。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	障がいのない子どもと交流する機会はなかった。新型コロナウイルスが収束したら、検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会には参加して、課題を共有して課題解決のために意見交換をしている。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや夕方お迎えに来た際に、その日の様子についてご家族に伝えている。また、気になることがあれば、積極的にご家族に確認している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは実施していない。今後職員をペアレントトレーニングの研修に派遣していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約をする前にご家族に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご家族から相談を受けた際は、気持ちを受容したうえで助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度は、新型コロナウイルスのため茶話会を実施できていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者及び責任者を配置している。苦情があった際は内容を職員周知し、解決に向けた取り組みを協議してから、ご家族に結果を報告している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月1回「さんさん館通信」を発行して、写真を入れて活動の様子等を紹介している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の管理を徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		言葉中心での意思疎通になっているため、今後絵カード等を使って障がい特性に応じて様々な方法で実施していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		毎年地域住民を招待する行事を企画しているが、今年度は新型コロナウイルス感染防止から実施できていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルは作成しているが、ご家族には周知されていない。今後、マニュアルの見直しを行い、必要に応じてご家族に伝えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に様々な災害を想定した避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内で障害者虐待防止に関する研修を企画したり、虐待防止のためのセルフチェックを実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむを得ず身体拘束を行う際は、事前にご家族に説明をするとともに、計画書に記載している。また、身体拘束を行った際は状況を記録するとともに、定期的に解除に向けての対応策を協議している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		お弁当とおやつは持参してもらっている。調理実習を行う際は、事前にご家族に食物アレルギーがないかを確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットや事故報告書は、職員に回覧して共有している。また、職員会議等で事故の概要と対策を説明している。